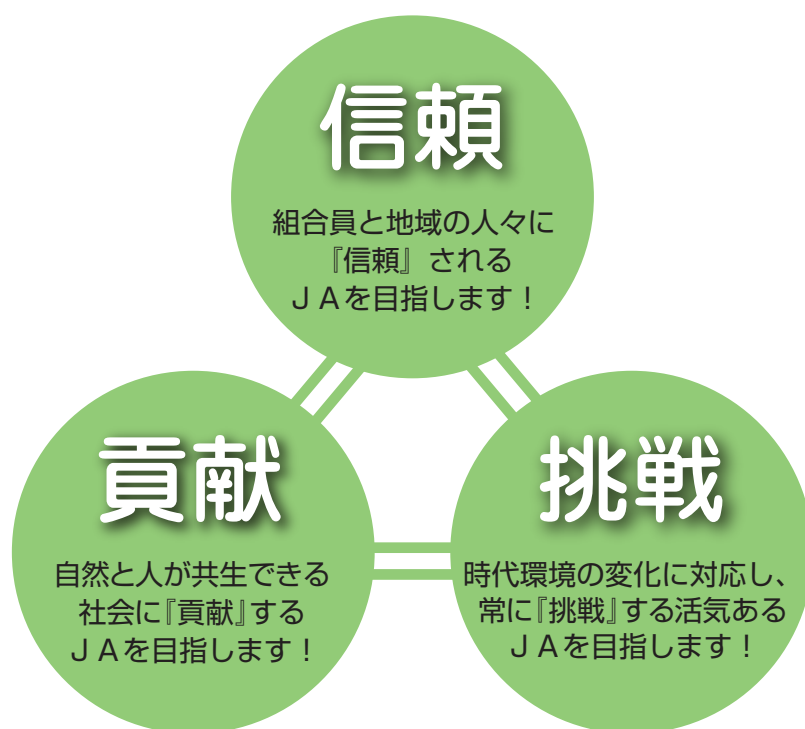


経営理念



2

経営理念・経営方針

経営方針

長期ビジョン（経営方針）

◆地域の農業者のために

地域の農業を支える農業者を応援し、元気と活力ある東美濃地域の農業を構築します。

◆地域に必要とされるために

J A の存在意義と使命を見つめ直し、東美濃地域から必要とされる J A を目指します。

◆地域で信頼される J A となるために

組織基盤の拡充、経営基盤の強化、内部管理態勢の高度化等による健全性の向上により、将来にわたって安定した総合事業機能を発揮します。

中期経営計画（令和4年度～令和6年度）

J Aグループでは、平成26年に自己改革の3つの基本目標として、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を掲げ、自己改革に全力で取り組んでまいりました。その結果、令和3年6月18日に閣議決定された「規制改革実施計画」では、農協法附則5年後検討条項による見直し及び准組合員の事業利用規制の検討について、J Aが組合員とそれに基づく方針を組合員の判断である総代会で決定し、実践していくための自己改革実践サイクルを構築することで結論を得ました。これまでの自己改革の実績、成果について、組合員や政府からも一定の評価が得られた一方で、今後も自己改革の継続が求められました。

農業面では、少子化と高齢化が進む中で農業就業者数や耕地面積は減少しています。今後、経営資源や農業技術が継承されず、生産基盤が一層脆弱化することが危惧されています。組織面では、高齢化に伴う組合員の世代交代や組合員との関係性の希薄化など、組織基盤の弱体化が懸念されています。経営面では、日銀のマイナス金利政策の継続等により資金運用環境の好転が見込めず、総合事業再編計画の実践による収支改善が喫緊の課題となっています。

このような状況のもと、第31回岐阜県J A大会では、基本方針「対話を通じた農業・地域・J Aの未来づくり～不断の自己改革によるさらなる進化～」が決議されました。これを受け、当J Aでは、「農業者の所得増大の実現」、「組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」、「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を3本柱とした中期経営計画（令和4年度～令和6年度）を策定いたしました。今回、「中期計画」ではなく「中期経営計画」とすることで、「農業者の所得増大の実現」を引き続き重要取組項目として進める中、この3年間は経営基盤を強化するための施策を重点的に実施し、今後も持続可能な組織として地域農業の振興と「食」と「農」を通じた地域の活性化に貢献してまいります。

J Aひがしみののは、地域の皆さまに「信頼され、必要とされるJ A」を目指し、全役職員が一丸となり全力で取り組んでまいります。

基本計画

1. 農業者の所得増大の実現

- (1) 担い手経営体への経営支援と次世代の担い手の育成支援
- (2) 売れる農畜産物の生産提案と販売強化
- (3) トータル生産コストの低減

2. 組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

- (1) 地域の食（消費者）と農（生産者）をつなぐ地産地消の促進
- (2) 食と農の仲間づくりのための組合員の拡大

3. 総合事業機能発揮のための経営基盤強化

- (1) 支店体制の再編及び営農経済事業の収支改善からなる総合事業再編計画の実践

第7次中期計画の結果

当JAでは、第7次中期計画（令和元年度～令和3年度）の最終年度として、「農業者の所得増大と農業生産の拡大」「組織基盤の確立と地域の活性化」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」の着実な実践に取り組んでまいりました。

達成状況は、計画に対する実績で判定しています。【100%以上：○、100%未満～60%以上：△、60%未満：×】

1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			達成状況		達成状況		達成状況
販売品取扱高	計画	55億円	△	55.3億円	△	53億円	△
	実績	53.1億円		51.5億円		49.1億円	
新規農畜産物出荷農家数	計画	50農家	△	55農家	○	60農家	○
	実績	38農家		59農家		61農家	
新規担い手農家数	計画	2農家	×	2農家	○	2農家	○
	実績	1農家		3農家		3農家	
経営規模拡大農家数	計画	20農家	○	30農家	○	40農家	○
	実績	33農家		44農家		45農家	
新規導入農家数 (新技術・品目導入)	計画	9農家	○	9農家	○	9農家	○
	実績	12農家		16農家		14農家	
農業応援隊新設	計画	調査・検討	○	試験実施	○	試験実施	○
	実績	調査・検討		試験実施		試験実施	
棚田米・特別栽培米の集荷数量	計画	4,000俵	○	4,500俵	△	5,000俵	△
	実績	4,220.5俵		4,103俵		4,314俵	
米の販売高増加額	計画	2,000千円	○	3,000千円	○	2,000千円	○
	実績	2,920千円		3,141千円		3,262千円	
マーケットインに基づく 販売品販売高	計画	15億円	○	16億円	○	14億円	○
	実績	16.1億円		16.3億円		14.1億円	
主食用米の買取数量	計画	27,000俵	○	27,500俵	○	26,500俵	△
	実績	30,031俵		30,301俵		24,596俵	
出張直売等の開催回数	計画	24回	○	27回	×	30回	○
	実績	24回		11回		32回	
業務用米等の作付面積	計画	80ha	○	90ha	○	160ha	○
	実績	128ha		157.5ha		163ha	
コスト低減品目数 (仕入コスト)	計画	30品目	○	30品目	○	30品目	○
	実績	166品目		72品目		40品目	
施工面積 (センチピードグラス)	計画	10,000㎡	△	10,000㎡	○	10,000㎡	△
	実績	9,559㎡		11,641㎡		6,000㎡	
肥料・農業予約注文戸数	計画	4,200戸	○	4,400戸	○	4,600戸	○
	実績	4,543戸		4,601戸		4,715戸	
受注台数 (小型農機予約購買)	計画	80台	×	100台	×	120台	○
	実績	35台		38台		163台	

目標基準項目	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			達成状況		達成状況		達成状況
申込件数 (レンタル農機等)	計画	16件	○	16件	○	16件	○
	実績	53件		49件		44件	
相談会の開催回数	計画	24回	○	24回	○	24回	○
	実績	80回		73回		64回	

2. 組織基盤の確立と協同による地域の活性化に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			達成状況		達成状況		達成状況
新規組合員加入者数	計画	1,000人	○	1,000人	○	1,000人	○
	実績	1,044人		1,010人		1,026人	
新規灯油配送戸数	計画	100戸	○	150戸	○	200戸	△
	実績	131戸		238戸		195戸	
冬期灯油予約配送 取扱量増加率 (対 平成30年度末)	計画	2%増	○	5%増	○	8%増	○
	実績	2.7%増		8.1%増		9.3%増	
新規Aコープ会員数	計画	300人	○	300人	○	300人	○
	実績	545人		517人		485人	
Aコープ組合員 特典企画実施回数	計画	12回	○	12回	○	12回	○
	実績	12回		12回		12回	
担い手訪問回数	計画	2,700回	○	2,700回	△	2,700回	○
	実績	3,738回		2,440回		3,167回	
農業融資残高増加率 (対 各年度末)	計画	10%増	×	10%増	×	10%増	×
	実績	5.5%増		3.8%減		6.1%減	
農業者賠償保険 新規普及件数	計画	12件	○	12件	○	12件	○
	実績	22件		20件		15件	
全支店での実施 (支店協同活動)	計画	全店実施	○	全店実施	○	全店実施	○
	実績	全店実施		全店実施		全店実施	

3. 総合事業機能発揮のための経営基盤強化を図ります。

目標基準項目	区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
			達成状況		達成状況		達成状況
自己資本額	計画	106.8億円	○	109.0億円	○	114億円	○
	実績	108.5億円		112.1億円		114.6億円	
農業・生活関連事業の収支改善 (対 平成30年度 部門別 損益計算書・事業利益)	計画	3%改善	○	6%改善	○	10%改善	×
	実績	23.5%改善		20.5%改善		2.6%改善	
「人を育てる仕組み作り」 職員満足度の向上 (対 平成30年度)	計画	3%向上	×	6%向上	△	10%向上	×
	実績	0.05%向上		3.97%向上		4.01%向上	